

(お知らせ)

福島第一原子力発電所 6 号機液体廃棄物放出口モニタの 指示値の上昇について

平成 17 年 3 月 19 日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

平成 17 年 3 月 18 日、当所 6 号機廃棄物処理施設の蒸留水サンプルタンク*¹の廃液をサンプリングし、放射性物質の濃度が検出限界値未満であることを確認した上で、午後 8 時 58 分、6 号機の放水口へ放出操作を開始した直後に、「液体廃棄物放出口放射線モニタ*² 高」の警報が発生し、蒸留水サンプルポンプが自動停止するとともに放出弁が自動で閉止しました。

停止後に配管内に残留していた水をサンプリングしたところ、微量の放射性物質（コバルト 60、マンガン 54）が検出されました。

なお、停止後に蒸留水サンプルタンク内の廃液を再度サンプリングし測定した結果、放射性物質が検出限界値未満であることを確認しております。

原因については、現在調査中です。

放水口モニタ*³の指示値に異常がないことを確認しており、本事象による外部への放射能の影響はなかったと判断しております。

以 上

＊ 1 蒸留水サンプルタンク

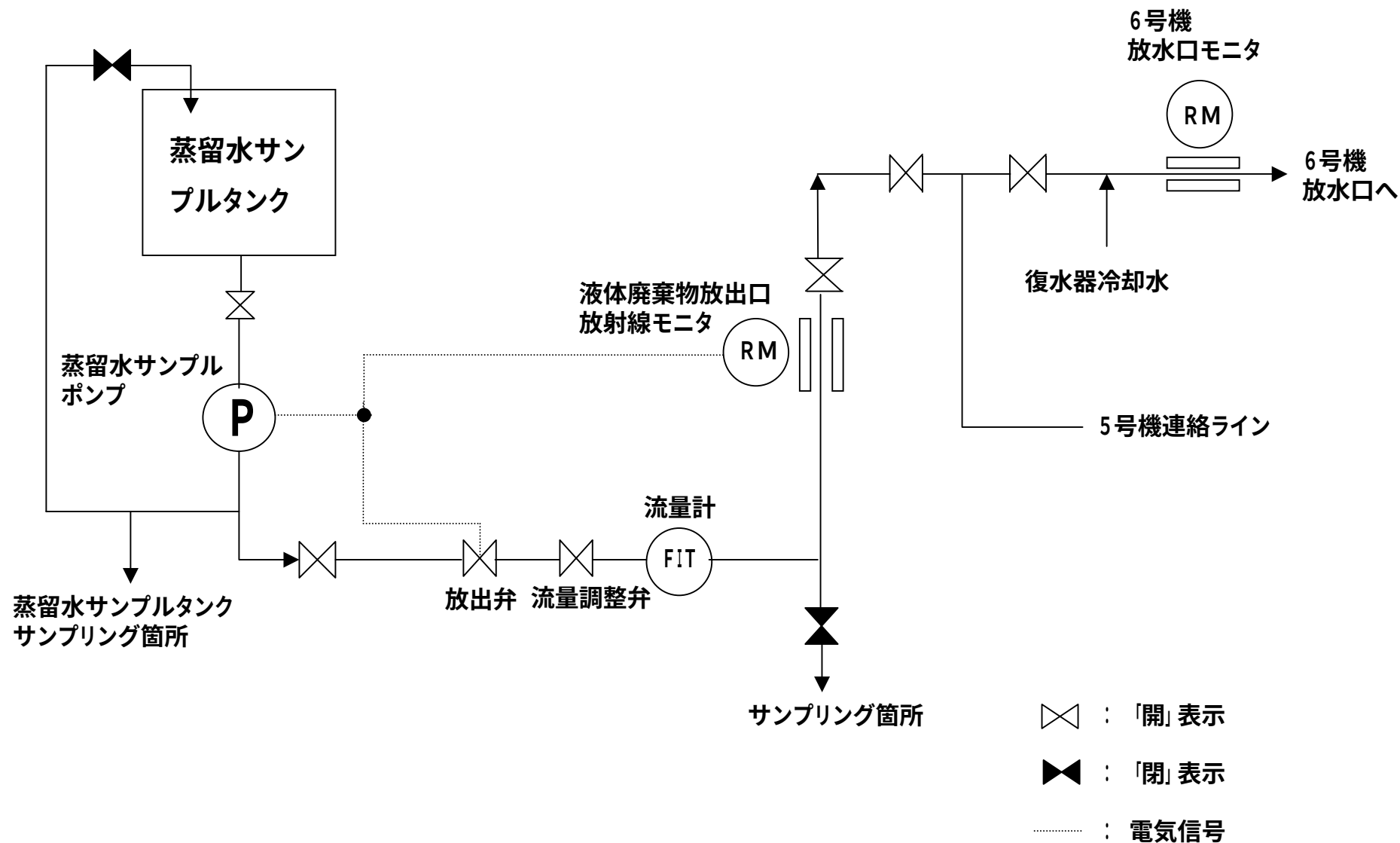
高電導度放射性廃液を処理する過程で、蒸留処理した際の蒸留水を貯蔵するタンク。

＊ 2 液体廃棄物放出口放射線モニタ

廃棄物処理施設から液体廃棄物を放出する際に、その廃液に含まれる放射線レベルを測定する装置。

＊ 3 放水口モニタ

発電所の各放水口にそれぞれ設置しており、放水口から放出される液体に含まれる放射線レベルを測定する装置。



系 統 概 略 図